

学生活動ワークシート
世界市民意識の育成



- スライド資料を見て知った事実、新たに考えるようになったことを基に、活動ワークシートの質問に答えよう。

1. 世界市民とはどんな人を意味するだろうか？

2. 地球村はなぜ世界市民を必要としているのだろうか？

3. 世界市民が備えるべき資質のうち最も重要なのはどんなことであり、その理由は何だろうか？

4. 世界市民が関心を持つべき様々な問題のうち、最も深刻だと思うのはどんなことで、その理由は何だろうか？

5. 下の表は世界市民意識の成熟度を確認するチェックリストである。提示された項目に基づいて、世界市民として各自の姿がどれくらい成熟しているか考え、世界市民意識育成のための今後の抱負を考えてみよう。

<世界市民意識成熟度チェックリスト>	全く そうではない	普通だ	非常に そうだ
1. 私は地球村という単語を実感している。			

SUNHAK PEACE PRIZE

2. 我が国と世界の様々な国との関係がより親密になるべきだと思う。			
3. 外国人の子と同じ教室で勉強するならば他の友達と同じように接すると思う。			
4. 互いに違う考えを持つ人々と協力して問題を解決するのが好きだ。			
5. どんな国が貧しいかは地球村共同の問題であるため助けてやるべきだと思う。			
6. 自分の行動が地球村に影響を与えることもあると思う。			
7. 他の文化圏の人々と気兼ねなく交わることができる。			
8. 戦争、貧困、環境破壊などの世界の問題を解決する仕事に参加したことがある。(ボランティアや寄付など)			
9. 最近1ヶ月以内に起きた地球村の 이슈を他の人に説明することができる。			
10. 地球上の水不足と自分には関連があると思う。			

6. より成熟した世界市民となるために

学生活動ワークシート
世界市民意識の育成



マララ・ユスフザイ映像活用

 <https://youtu.be/hNAmM-llm4c>

- 映像を視聴した後、下の文章(マララ・ユスフザイのノーベル平和賞受賞スピーチのうちの一部)を参考にして、質問に答えよう。

この賞は、私だけのものではありません。教育を望みながら忘れ去られたままの子供たちのものです。平和を望みながら、おびえる子供たちのものです。変化を求めながら、声を上げられない子供たちへの賞なのです。

今、私は彼らの権利のために、そして彼らの声を届けるために、ここに立っています。今は、彼らを哀れんでいるときではありません。教育の機会を奪われた子供たちを見るのを、これで最後にするために、行動を起こすべきときなのです。

私は、人々が私のことを、いろんなふうと呼ぶことに気づきました。

ある人は、タリバーンに撃たれた少女と。
またある人は、自分の権利のために闘う少女と。
そして今は、「ノーベル賞受賞者」とも呼ばれます。

私を知る限り、私はただ、全ての子供たちが質の高い教育を受けることができることや、女性が平等な権利を持てること、そして世界の隅々まで平和であることを願う、熱心で頑固な人間でしかありません。

教育は人生の恵みの一つであり、生きる上で欠かせないものです。このことを私は、17年間の人生で経験しました。(パキスタン北部の)スワート渓谷にある故郷では、私はいつも、学校に通って新たなことを学ぶことを愛していました。何か特別なことがあると、私は友達と一緒に(植物染料の)ヘナで手を装飾したのを覚えています。花や模様を描くかわりに、私たちは数式や方程式を書いたものでした。

私たちは教育を渴望していました。なぜならば、私たちの未来はまさに教室の中にあったのですから。ともに座り、学び、読みました。格好良くて清楚な制服が大好きでしたし、大きな夢を抱きながら教室に座っていました。両親に誇らしく思ってもらいたかったし、優れた成績をあげたり何かを成し遂げるといった、一部の人からは男子にしかできないと思われることを、女子でもできるのだと証明したかったのです。

SUNHAK PEACE PRIZE

1. マララ・ユスフザイとはどんな人だろうか？

2. マララ・ユスフザイがブログを通して明かしたタリバン占領地の現実とはどんなものであり、これに関連した彼女の主張は何だろうか？

3. マララ・ユスフザイが夢見る世界とはどのようなものだろうか？

4. マララ・ユスフザイは地球村の子供たちが直面する問題に関心を傾け、これを解決するために積極的に行動する代表的な世界市民である。現在地球村で発生している様々な問題のうちから世界市民の関心を要求する主題を1つ選択して、これを解決するための自分だけの行動課題を構想してみよう。(私たちは市民活動家となることができ、非正規機構を作ることもできる。地球村の問題に対する認識と行動を要求する方法は、想像以上に多様です。下のマーク・ガーゾンの「世界市民意識を形成する4つのステップ」を参考にして考えてみよう。)

世界の市民意識の形成4段階

直視(目を開く) ▶ 学習(知性を呼び起こす)
▶ 連帯(関係を形成) ▶ 地球規模で協力(共に働く)

出処：マーク・ガーゾン<世界で生きる力>
